

令和7年度 壱岐市立渡良小学校学力向上プラン

【学校教育目標】「一心三気」を身につけ、自らつながり生きぬく児童の育成

【研究主題】「見方・考え方」を働かせて知識をつなぐ、深い学びの実践

本校が考える深い学びとは…

数学的見方・考え方を働かせて、知識を相互に関連付けてより深く理解する学びのこと。

授業改善	取組指標
○解決方法の自己決定による個別最適な学びの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「見通し」をもつ段階における解決方法の自己決定をする場を保障する。 ・自力解決を図れる環境を整え、全員が新たな知識を得るよう工夫する。 ・学年の実態に応じて書く活動やICT活用の方法を決め、共通理解を図り、系統的にアウトプットの充実を図る。 	★解決方法を自己決定して自力解決できている。 ⇒90%
○数学的見方・考え方を働かせた話し合いによる協働的な学びの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・数学的見方・考え方による、話し合いを促進・深化し、深い学びの実現を図る。 ・数学的見方・考え方を働かせることを価値付け、自覚的に働かせる。 	★「ふりかえり」に見方・考え方が反映されている。 ⇒90%
○問題解決的な学習過程の徹底による一単位時間の授業の充実と単元構成の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・『体験的な活動を取り入れた問題解決的な学習過程』をもとにした授業改善 ・授業チェックシートを基にした授業参観及び授業研究会 ・共通した学習規律・学習習慣の確立・徹底 	★研究授業の授業チェックシート ⇒本時の授業において90%以上・70～90%を8個以上達成する。

基礎学力（既習内容）の定着を図る。

学力の基礎固め	ICTの活用	学習環境の整備
<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジタイムによる基礎・基本指導の徹底 ・活用タイムの徹底による活用する力の育成 ・渡小検定の実施による児童の学習意欲喚起 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の情報活用能力の育成 ・教員のICT活用指導力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携による家庭学習・生活習慣の定着 ・言語力を高める読書指導の充実(目的意識) ・校内における学習環境の充実

【各学力調査による児童の学力の課題及び要因の考察】

学力の課題	基礎学力の定着と学力の二極化
要因	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力が低く、読書に取り組む姿勢も個人差がある。 ・基礎・基本が定着していない児童が多く、活用する力も低い。 ・題意を正しく読み取る力が低い。